

# 私は大丈夫、が最も危険 防ごう！火災

今年4月に入り火災が急増しています。大切な命や財産、豊かな自然を守るため、ご自宅や職場の火の元を今一度点検するとともに、火の取り扱いには十分注意しましょう。

問合せ 消防本部予防課 ☎32-3027

市内における火災件数は今年に入り9件(4月16日現在)で、前年同期と比べ3件減っています。9件中8件が建物火災で、6棟焼損する火災もありました。また、仏壇などのローソクや線香からの火災が3件発生しています。

春になると空気が乾燥し火災が起こりやすくなり、今年も火災警報発令中に1件の火災が発生しています。

警報発令中は屋外でのたき火や喫煙、山林などへの火入れは禁止されていますので、火の取り扱いには一層ご注意ください。

## 一人ひとりの注意と行動で火災予防

### 家庭での火災予防

- ▽コンロのそばから離れる時は必ず火を消す
- ▽燃えるもの(コンロやストーブ)のそばに洗濯物など置かない
- ▽寝たばこは絶対にしない
- ▽火災の早期発見、被害を最小限に食い止めるために、住宅用火災警報器を設置するなど

### 屋外での火災予防

- ▽火災警報発令中など空気の乾燥している時は、たき火・火入れ・喫煙をしない
- ▽家庭ごみなど廃棄物を屋外で焼却することは、原則行わないなど

### 放火の予防

- ▽祭礼やイベントで火を扱う器具を使用する場合は、消火器を準備する。また、露店を開設する場合は届出を最寄りの消防署に提出する
- ▽家の周りに紙類など燃えやすいものを放置しない
- ▽ごみ集収日の前夜にごみを外に出さない
- ▽オートバイや自転車などのボディーカーバーは防炎品を使う
- ▽郵便受けに新聞やチラシを溜めつばなしにしないなど

写真は平成14年4月に発生した「岐阜市東部・各務原市林野火災」当日は6%という低い湿度と風速5~6mの強い風があり、大規模な火災となりました。被害総額は復旧費も含め6億8,400万円にものぼりました。

## 火災の状況

※4月16日現在(調査中を除く)  
平成27年と28年の( )は1月から4月16日までのもの

	平成27年 1月~12月	平成28年 1月~12月	平成29年 1月~4月
合計(件)	20 (5)	26 (12)	9
建物	12 (3)	13 (8)	8
林野	1 (0)	3 (0)	0
車両	1 (0)	3 (0)	0
その他	6 (2)	7 (4)	1
損害額	5,429万円 (4万円)	1,688万円 (1,452万円)	2,153万円 ※(調査中2件)

消防本部 予防課調べ

## Topic 危険な林野火災



消防署では、水利の乏しい山林で消火訓練を毎年行い、いざという時に備えています。

林野火災はいったん発生すると、消防水利の不足や火災現場へのアクセスが悪いことなど、消防活動が困難な場合が多く、気象条件によっては被害が広範囲におよび危険が高まります。

全国の統計によると、林野火災の原因は、たき火やたばこの不始末、火入れなどが上位を占めています。つまり、林野火災は人的な要因で発生しているのです。

これからの季節は山菜採りや溪流釣りなど山に入る機会も多く、空気が乾燥することも多いので、一人ひとりの注意で林野火災を防ぎましょう。